

H29年度 就労部会 振り返り・評価シート

H30年2月26日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

①企業が就労支援事業所を見学できるようなシステムの検討。②「就労関係機関シート」と「取り組み内容一覧表」の精査。③実習先開拓にかかる情報交換と実態確認。

【今年度の取り組み内容】

開催回数	5回	開催月	5月、7月、9月、11月、1月
------	----	-----	-----------------

○具体的活動内容

①企業が障害者雇用をしたいと思って、障害者や訓練現場を見学したいと考えた時にタイムリーに就労支援事業所を見学できるようなシステム作りの検討をした。
 ②「就労関係機関シート」と「取り組み内容一覧表」を精査し、いずれ外部に発信できるように検討した。
 ③(就労支援事業所からの)企業実習の開拓にあたり、実習に出したい目的や、実際に実習に出られる人の人数などの確認が必要であるため、まず部会員同士で情報交換し、実態等を確認した。
 ④第5期障害者基本計画・障害者福祉計画についての検討、意見交換を行った。

○取り組みの結果及び成果 ※成果はモニタリングを実施した場合のみ

【取り組みの結果】

①企業が就労支援事業所を見学できるようなシステムの検討については、運営会議へ提案し、ワーキングへ移行した。
 ②「就労関係機関シート」と「取り組み内容一覧表」について、部会メンバーで確認、意見交換を経て、情報を追加した。合わせてジョブコーチについての情報共有や障害者雇用についての取り組みを共有するための体系図をもとに意見交換を行った。
 ③実習先開拓にかかる情報交換と実態確認を部会内で行った。
 ④第5期障害者基本計画・障害者福祉計画について、目標値の決定と目標値の達成(障害者雇用の促進)のためにはどういった取り組みが必要か等について意見交換を行った。

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

・就労部会からワーキングへつなげたことは部会の成果。
 ・取組内容一覧表の精査は要検討。⇒関係機関とつなぐためのツールになると良い。精査の作業を継続できるとよい。
 ・部会メンバーの互いのことを知らなかったが、色々な立場の人が集って情報共有でき、良かった。
 ・課題に対しての根拠が薄い気がした。現状把握を数値的にも明確にしていく必要あり。
 ・長岡市全体の就労の現状、様々な機関の取り組みが見え、情報共有の場となった。
 ・雇用促進の点で、見学システムの効果は疑問もあった。
 ・色々な会議が連動しながら、雇用に関わっていければ良い。(就労ワーキングと中越圏域の会議等…)
 ・雇用促進に向けて、常に事業所としても対応できるような体制を作っていきたい。
 ・目に見える成果物ができると良い。

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で、どのような協議会の機能があったかを確認する。※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	機能の有無	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	<input checked="" type="radio"/> 有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・部会内での情報共有はされていた。 ・(ワーキングで)圏域会議に向けては発信できた。 ・所属している事業所内での周知・情報共有は、あまり図られていない。 ・雇用状況等、外に発信することは出来なかった。どこに何を発信したらいいかは、議論していく必要あり。 ・協議会のメンバーに対しては、全体会、運営会議では、伝えきれなかった。 ・全体像を伝えることを外に発信していけば良い。
調整機能	<input checked="" type="radio"/> 有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機能よりは弱い。 ・課題ツリーを作成したが、優先順位は決められず、根拠も薄かったように思う。 ・ワーキングにつないだ。 ・調整の場面があまりなかった。
開発機能	<input checked="" type="radio"/> 有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・部会から派生したワーキングで、セルフチェックシートを作成した。 ・ワーキングで、サービス管理責任者の会議(圏域)の活用をした。 ・実習開拓についての状況が確認できた。
教育機能	<input checked="" type="radio"/> 有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブコーチの話が勉強になった。 ・部会に参加したことで学びの機会になった。
権利擁護機能	有 <input checked="" type="radio"/> 無	<ul style="list-style-type: none"> ・個別を通じての話はしていない。
評価機能	<input checked="" type="radio"/> 有・無	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関取り組みシート等も含め、確認を行ってきた。 ・部会で行ってきたことを、現在評価している。 ・就労支援事業所へのヒアリング、評価等については、今後の課題。 ⇒利用者を就労させるための取組をしているか。 ⇒部会が外で取組めることはないか。(事業所ごとのばらつきが是正されるような取組など)

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 終了
継続・終了の理由	就労については、障害者施策における普遍的な課題で、関係機関のネットワークにより特に継続して取り組んでいく必要があるため。

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

来年度の取組の継続する モニタリングの実施	有 <input checked="" type="radio"/> 無	モニタリング実施時期	年 月
--------------------------	--------------------------------------	------------	-----

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】

※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

- ・各機関での取組に対しての情報共有については、継続する。
→良く分かっていないことを調査する。(卒業後の状況、就労移行支援から就職した後の状況、定着状況の確認等)
- ・事業所が個々で取組んでいることを中立的に行えるところがあれば、検討する。
→どこの事業所も人手不足で、積極的に何か取組などを行うことが難しい。個々の事業所でやっているから効率が悪い取組もあると思われるため、目に見える形で事業所のプラスになることを行えると良い。

【来年度の方向性・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】

※来年度継続の場合

- ・就労移行支援事業所等から一般就労への移行についての情報共有と実態把握を行う。
→事業所が個々で取組んでいることを把握し、中立的に行えることがあるかの確認を行う。
(事業所努力で実施しなければいけないものと、そうでないものの状況把握や、課題とするには根拠が薄い
ため、実態把握をしっかりと行っていく。)
- ・今まで取り組んできたものの方向性を検討する。
→各機関での取組に対しての情報共有を継続して行う。
→「就労関係機関シート」と「取り組み内容一覧表」の今後の活用方法を検討する。